

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会  
平成30年度事業計画

平成30年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）は日本アメリカンフットボール協会（Jafa）にとって公益社団法人としての第6期となる。協会運営体制を整備し、定款・規則・規程に則った協会運営を進めて行く。

今年度は、3つの国際試合、FISU 主催第3回世界大学選手権、IFAF 主催第5回 U-19 世界選手権ならびに IFAF 主催第9回フラッグフットボール世界選手権にそれぞれの日本代表チームを派遣する予定である。

また、重大事故を未然に防止するために、安全対策ハンドブック（指導者向けおよび選手向け）を全国の加盟団体登録者全員に無償配布するとともに、加盟団体の協力を得て安全対策の教育ならびに周知徹底に取り組んでいく。

1) 日本スポーツ協会公認指導者養成事業

定款第5条第1項第1号に関連する事業として、公益財団法人日本スポーツ協会（JSA）が主催する公認指導者養成事業の一つとして、日本スポーツ協会からの委託に基づいてアメリカンフットボール競技に関する指導員資格の専門科目講習会を開催する。

更新時期を迎える公認指導者資格保有者に対する義務研修を計画的に開催するとともに、資格保有者に対して義務研修の受講を促す。

また、指導員資格ならびにコーチ資格のテキストを充実させていく。

※公益財団法人日本体育協会は平成30年4月1日から公益財団法人日本スポーツ協会に名称変更される。

2) コーチクリニック、フットボール教室

定款第5条第1項第1号に関連する事業として、コーチクリニック、フットボール教室を開催する。

重大事故を未然に防止し、安全なアメリカンフットボールに取り組む観点から、指導者育成委員会ならびに安全対策委員会と連携をとって、「ヘッズアップフットボール」のプログラムを中心に展開していく。

また、日本代表チームのコーチを中心とするアカデミーコーチングスタッフにより、ユースならびに高校生、あるいは大学入学後に初めてフットボールを始める選手たちを対象にしたプログラムも並行して進めていく。

「Jafa フットボールアカデミーキャンプ」を実施する。開催予定は以下のとおりである。

- ・平成30年5月13（日）：フレッシュマンクリニック（関西学生連盟）
- ・平成30年7月1日（日）：ヘッズアップアカデミーキャンプ（関東学生連盟）

- ・平成30年7月8日(日):ヘッズアップアカデミーキャンプ(東北学生連盟)
- ・平成30年7月8日(日):ヘッズアップアカデミーキャンプ(関東高校連盟)
- ・平成30年7月15日(日):ヘッズアップアカデミーキャンプ(北陸学生連盟)
- ・平成30年7月21日(土):ヘッズアップアカデミーキャンプ(北海道学生連盟)
- ・平成30年7月22日(日):ヘッズアップアカデミーキャンプ(関西高校連盟)
- ・平成31年3月10日(日):ヘッズアップアカデミーキャンプ(東海学生連盟)
- ・平成31年3月16日(土)~17日(日):ヘッズアップアカデミーキャンプ(中四国学生連盟)
- ・平成31年3月24日(日):ヘッズアップアカデミーキャンプ(九州学生連盟)

※「JAF A フットボールアカデミーキャンプキャンプ」は日本スポーツ振興センターのくじ助成を受けて実施します

### 3) 川崎市のまちづくり推進とアメリカンフットボールの普及活動

定款第5条第1項第1号及び第11号に関連する事業として、平成19年に締結した川崎市との協定に基づき、川崎市のまちづくり推進連絡協議会に参加し、アメリカンフットボールを活用した川崎市のまちづくりと、川崎市におけるアメリカンフットボールの普及発展に努める。

川崎富士見公園内に川崎市が2年の歳月をかけて建設してきた「富士通スタジアム川崎(旧川崎富士見球技場)」の観客席が平成27年3月に完成し、同4月からアメリカンフットボール準専用スタジアムとして運用開始された。アメリカンフットボール関連競技団体及び指定管理者との協力体制のもと、富士通スタジアム川崎で開催するアメリカンフットボールの試合に多くの観客を集めるとともに、川崎市商工会議所や川崎駅広域商店街連合会の協力を得て、アメリカンフットボール(フラッグフットボール含む)を市民スポーツとして定着させるべく努力する。

川崎市民にアメリカンフットボールを知ってもらうための普及・PR業務を川崎市からの受託業務として実施する。

### 4) 大規模災害復興支援に関する事業

定款第5条第1項第1号、第12号に関連する事業として、大規模災害が発生した地域に対して、アメリカンフットボールを通じた復興支援事業を加盟団体と連携して行う。

### 5) アメリカンフットボール日本選手権「ライスボウル」の開催

定款第5条第1項3号に関連する事業として、アメリカンフットボール日本選手権「第72回ライスボウル」を主催する。ここ数年間、ライスボウルの観客数が徐々に増える傾向を見せているが、第71回ライスボウルでは観客数がさらに増え、35,000人を超えた。今後とも、アメリカンフットボールファンに楽しんでもらえる日本選手権として定着させていく。

### 6) 高校生連盟・中学生連盟の主催試合等に対する後援ならびに助成

定款第5条第1項第3号に関連する事業として、高校生連盟や中学生連盟が主催する試合（日本選手権、選抜チーム対抗戦など）を後援する。

高校生連盟に対しては、平成29年度に引き続きクリスマスボウル（全国高等学校アメリカンフットボール選手権）と、ニューイヤーボウル（関西地区選抜・関東地区選抜対抗戦）を後援・助成する。中学生連盟に対しては、情報共有を図りながら、幅広く活動を支援する。

#### 7) 国際試合の主催・後援

定款第5条第1項第4号に関連する事業として、以下の国際試合を後援する。

##### ・第8回 TOMODACHI BOWL

対戦：米軍基地内ハイスクール代表チーム vs U-19 日本選抜チーム（関東主体）

主催：一般社団法人関東学生アメリカンフットボール連盟

主管：一般社団法人関東学生アメリカンフットボール連盟

後援：公益社団法人日本アメリカンフットボール協会

日程：平成31年3月

会場：未定

#### 8) 国際試合へのチーム派遣

定款第5条第1項第4号に関連する事業として、IFAF等が主催する国際試合に日本代表チームを派遣する。

##### ・第3回世界大学選手権（FISU 主催）

日程：平成30年6月14日～24日

会場：中華人民共和国 ハルビン市

##### ・第5回U-19世界選手権（IFAF 主催）

日程：平成30年7月14日～22日

会場：メキシコ メキシコシティ

##### ・第9回フラッグフットボール世界選手権（IFAF 主催）

日程：平成30年8月

会場：パナマ

※「国際試合へのチーム派遣」は日本スポーツ振興センターの基金助成を受けて実施します

#### 9) 国際競技力向上に向けた取り組み

定款第5条第1項第4号に関連する事業として、各世代の有力選手を集め、技術力向上を目指しクリニックを開催する。その中から、それぞれの世代で日本代表候補選手を選出し、国際大会へ向けたチーム作りに取り組む。

① インターナショナルボウル2019（世代：18歳以下）

平成31年1月にアメリカ合衆国テキサス州で開催されるインターナショナルボウルに、高校3年生を主体としたU-18日本選抜チームを派遣し、アメリカの熟練コーチの指導による強化キャンプを経て、同年代のアメリカ選抜チームと試合を行う。アメリカチームとの試合を体験させることにより国際競技力の向上を図るものである。

また、強化キャンプ及びインターナショナルボウルには通訳コーチに加えて高校指導者を派遣しアメリカの熟練コーチから指導方法を習得する機会とする。

- ・平成30年7月24日（火）：インターナショナルボウル キャンプ（関西地区）
- ・平成30年7月27日（金）：インターナショナルボウル キャンプ（関東地区）
- ・平成30年12月1日（土）：インターナショナルボウル キャンプ（関西地区）
- ・平成30年12月2日（日）：インターナショナルボウル キャンプ（関東地区）
- ・平成31年1月中旬：アメリカ遠征、  
5日間の強化キャンプの後、インターナショナルボウルに出場してアメリカ選抜と試合する。

② IFAF 主催U-19世界選手権2018に向けた選手選抜（世代：19歳以下）

平成30年7月にメキシコ、メキシコシティで開催されるIFAF 主催U-19世界選手権に派遣するU-19日本代表チームの選手45名をトライアウト（平成30年3月実施済み）及びその後の強化キャンプを通じて選抜する。選手の選抜ならびに強化キャンプでの指導は、日本代表チーム編成委員会が推薦しJAF A理事会が選任したU-19日本代表チーム監督ならびにコーチングスタッフが中心になって行う。

- ・平成30年5月12日（土）13日（日） U-19 キャンプ（関東地区）
- ・平成30年5月19日（土）20日（日） U-19 キャンプ（関西地区）
- ・平成30年6月30日（土）7月1日（日） U-19 キャンプ（合同）

③ FISU主催世界大学選手権2018に向けた選手選抜（世代：大学生）

平成30年6月、中華人民共和国ハルビン市で開催されるFISU世界大学選手権2018に派遣する大学日本代表チームの選手45名をトライアウト（平成30年3月実施済み）及びその後の強化キャンプを通じて選抜する。選手の選抜ならびに強化キャンプでの指導は、日本代表チーム編成委員会が推薦しJAF A理事会が選任した大学日本代表チーム監督ならびにコーチングスタッフが中心になって行う。

- ・平成30年4月14日（土）15日（日） カレッジキャンプ（関東地区）
- ・平成30年4月21日（土）22日（日） カレッジキャンプ（関西地区）

※「国際競技力向上に向けた取り組み」は日本スポーツ振興センターのくじ助成を受けて実施します

10) 国際試合への審判員の派遣

定款第5条第1項第4号に関連する事業として、I F A Fが主催する国際試合に審判員を派遣する。平成30年度は、上記8)に記載した国際試合のほか、平成31年度に予定されている世界選手権に向けた大陸予選に、主催者の要請に応じて審判員を派遣する予定である。

#### 1 1) 競技規則の制定・告知・頒布

定款第5条第1項第5号に関連する事業として、競技規則委員会（平成30年3月14日開催）の決定に基づき、アメリカンフットボール競技の平成30年度公式規則について、平成29年度公式規則からの変更について加盟団体に周知するとともに、平成30年度版公式規則書を発行する。

#### 1 2) 医科学研究会

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、フットボールシーズン終了後（平成31年2月）に医科学研究会を開催する。アメリカンフットボールに密接に関連する医科学分野の医師、トレーナー、指導者が一堂に会して、当該年度に発生した重大事故、医科学分野における新たな知見等の情報を持ち寄って、選手の安全確保のための情報共有、意見交換を行う。また、加盟競技統括団体の所属チームに外傷報告書を提出してもらい、安全対策委員会においてデータを集計し、得られた知見については医科学研究会で報告する。

そして、重大事故を未然に防止することを目的に、平成30年2月、J A F A が監修、発行した「安全対策ハンドブック（指導者向け）」を加盟チーム全指導者へ無償配付し、全国の指導者に向けた安全対策セミナーを実施する。また新たに「安全対策ハンドブック（選手向け）」を発行し、加盟チーム全選手へ無償配付する。

#### 1 3) ドーピング検査

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、三大ボウルゲーム（甲子園ボウル、ジャパンエックスボウル、ライスボウル）においてドーピング検査を実施する。ドーピング検査は、専門機関である日本アンチ・ドーピング機構（J A D A）に委託して行う。

※「ドーピング検査」は日本スポーツ振興センターのくじ助成を受けて実施します。

#### 1 4) アンチ・ドーピング講習会

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、アンチ・ドーピング講習会を開催する。多くの指導者、選手はアンチ・ドーピングの主旨は理解しているものの、禁止薬物に関する知識、持

病等で処方を受けている薬物の事前申請（TUE）、居場所情報提出などの手続きなどについて十分な知識を有しているとは言い難く、啓蒙活動の一環として、平成30年10月～11月にかけて関東、関西の2会場でアンチ・ドーピング講習会を開催する。

15) 受講者推薦（日本スポーツ協会公認スポーツドクター、スポーツデンティスト及びアスレティックトレーナー養成講座）

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、日本スポーツ協会が主催するスポーツドクター養成講座、スポーツデンティスト養成講座及びアスレティックトレーナー養成講座の受講生を推薦する。安全対策委員会が、受講希望者の中から日本スポーツ協会の受講者選考基準に合格するものを選考して推薦する。

16) アメリカンフットボールに適した競技場の設置促進

定款第5条第1項第7号に関連する事業として、あらゆる機会をとらえて、国、地方自治体その他の競技場または競技場用地所有者に対して、アメリカンフットボールに適した競技場の設置促進を働き掛ける。

17) CFO 会議への競技規則委員派遣・参加

定款第5条第1項第8号に関連する事業として、全米大学体育協会（NCAA：National Collegiate Athletic Association）の公式規則変更、公式規則適用の状況を正確にかつ迅速に把握するために、米国 CFO（College Football Officiating LLC）が主催するフットボール・コーディネーター・ミーティング及びナショナル・レフェリー・カンファレンスにそれぞれ競技規則委員1名ずつを派遣する。

・派遣時期 ナショナル・レフェリー、カンファレンス : 平成30年4月  
フットボール・コーディネーター・ミーティング : 平成31年1月

18) WEB サイトによる情報発信

定款第5条第1項第9号に関連する事業として、Jafa 専用 WEB サイトを活用して、Jafa 及びアメリカンフットボールに関する情報を発信する。

Jafa 専用 WEB サイトは、昨年度末に大幅リニューアルを実施した。今年度はライスボウル、日本代表、Jafa アカデミーなどのページをさらに充実させるとともに、本協会の公報としての役目を果たすために WEB サイトを活用した情報公開を実施する。

今年度は3つの国際大会が開催されることから、特に日本代表 WEB サイトの充実を図る。

19) 殿堂顕彰

定款第5条第1項第10号に関連する事業として、日本アメリカンフットボールの殿堂において、昨年の殿堂顕彰者の掲額式を実施する。

20) 関係団体・機関との情報交換・連携

定款第5条第1項第11号に関連する事業として、国際アメリカンフットボール連盟 (IFAF)、独立行政法人日本スポーツ振興センター (JSC)、公益財団法人日本スポーツ協会 (JSA)、公益財団法人日本オリンピック委員会 (JOC)、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 (JADA)、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構 (JSAA)、一般財団法人日本トップリーグ連携機構 (JTL) など関係団体・機関と密に情報交換を行い、連携して活動する。

以上